

令和元年度 地域包括支援センターの重点的取組（報告）

1. 自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントのさらなる強化

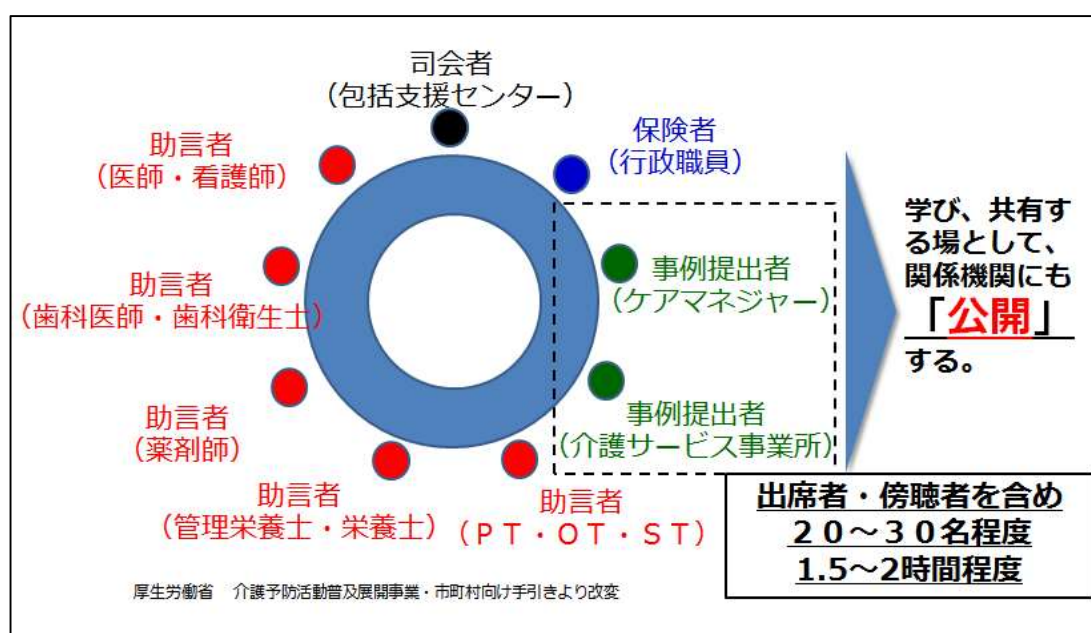
平成30年度より全市的に実施している自立支援型の地域ケア会議を引き続き開催し、各種専門職とともに自立支援・重度化防止の理念の普及拡大、定着化を推進するほか、各区役所に新たに配置するケアマネジャーと地域包括支援センターが綿密に連携すること等によって、介護や支援を要する方のできるだけ早期の自立支援・重度化防止に向けた取り組みを強化し、状態に応じた適切なサービスの提供を目指す。

◆自立支援型の地域ケア会議について

目的：本人の自立を阻害している要因について、専門職の多角的な視点から明瞭にしていくとともに、自立や重度化防止にむけての方法考え、共有する会議。

回数：平成30年度は全センター合計で、167回、220ケースを検討。

主な会議出席者：



◆各区役所に配置するケアマネジャーについて

目的：自立支援型地域ケア会議等への出席・支援や、各センターと連携した区域内的介護支援専門員に対する指導・助言等の実施。

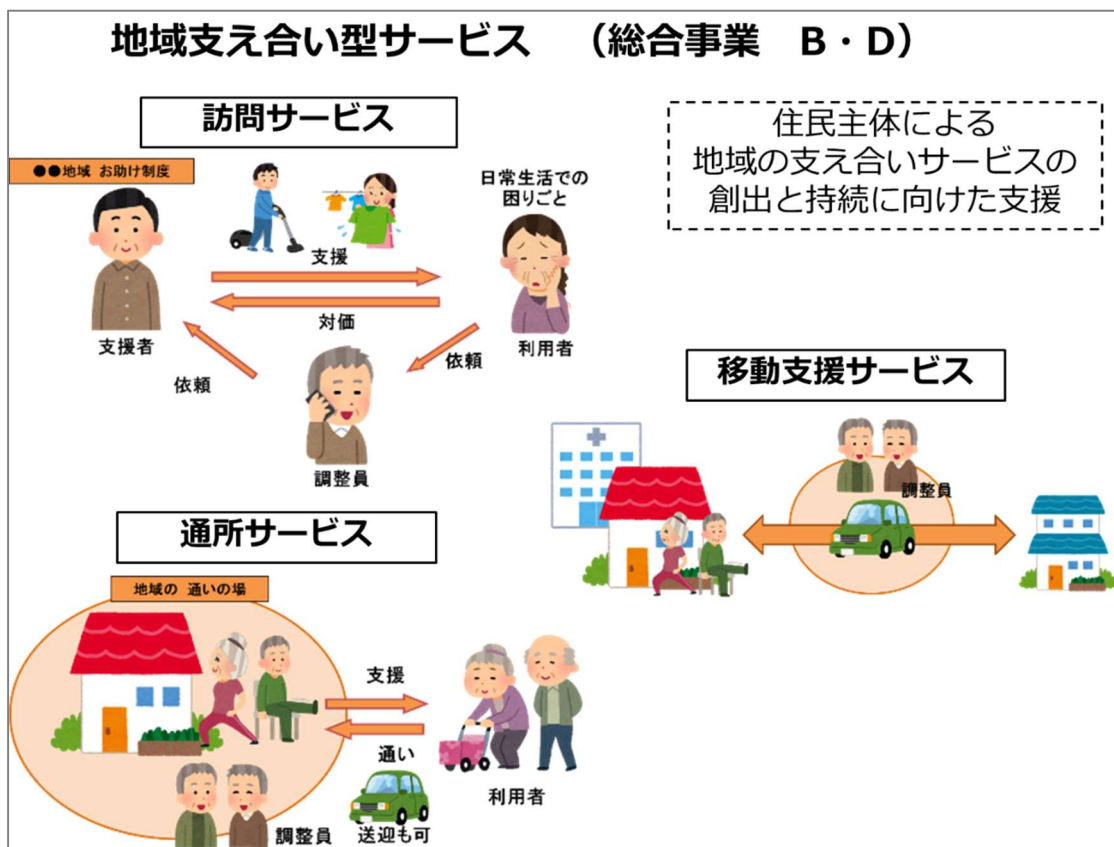
配置状況：東区役所1名配置、他区役所4名は現在も募集中。

募集方法：ハローワーク、e ナースセンターへの登録、市・各ささえりあが開催する事業者が出席する各種説明会での周知、区役所へのポスター掲示。

2. 多様な生活支援サービスの創出と持続的運営に向けた支援

生活支援コーディネーターを中心として、地域課題の抽出や生活支援の担い手となる人材育成等、地域資源の掘り起こしや開発、ニーズとのマッチングを行うとともに、今年度より介護予防・日常生活支援総合事業のひとつとして新たに展開する「熊本市地域支え合い型サービス補助金」を活用し、多様な生活支援サービスの創出や持続的運営を支援する。

◆地域支え合い型サービスのイメージ



地域支え合い型 サービス類型	内 容	説 明
訪問サービス	利用対象者の居宅において、介護予防を目的として、主に住民ボランティア等、住民主体の自主活動として行う生活援助等の多様な支援	買物代行、調理、ごみ出し、電球の交換、布団干し、階段の掃除 等 運営費補助月額:2千～1万2千円
移動支援 サービス	利用対象者が通院や買い物等をする場合における住民主体による送迎前後の付き添い支援や通いの場への送迎	特定研修を受講することを要件 運営費補助月額:2千～1万2千円
通所サービス	住民主体による利用対象者を中心とした定期的な利用が可能な自主的な通いの場の運営及び送迎	開設頻度:週1回以上 人数:利用者5人以上/月 開設時間:3時間以上/回 活動内容:体操・運動等の活動、趣味活動を通じた日中の居場所づくり その他:送迎を行う場合は特定研修を受講することを要件 運営費補助月額:3万～7万2千円

◆地域支え合い型サービスの実施状況（令和元年8月1日現在）

No.	区	サービス運営者名	訪問	移動 支援	通所	送迎	取組内容
1	東	暮らし応援協力隊	○	○			訪問:生ゴミ出し、買い物代行、電球交換、掃除、調理 等 移動支援:各種介助、通院、買物、役所手続 等
2	西	二本木ボランティア会			○		百歳体操 等
3	東	だっでんかつでん寄んなっせ			○	○	・健康体操・趣味活動(カラオケ)・茶話会 等
4	東	みんないっしょクラブ		○			いきいきサロン、おしゃべり会への移動支援
5	西	古町さくら会			○		健康体操、銭太鼓、唱歌、趣味活動
6	南	team輪			○		昼食会、健康体操、健康ヨガ、趣味活動(小物づくり、英会話、編み物等)、脳トレ 等
7	東	広木よかばい元気くらぶ			○		百歳体操、カラオケ
8	南	天明元気づくり応援隊			○		百歳体操、茶話会、小物づくり、脳トレ 等
9	北	麻生田5町内地域交流かたらん会			○		健康100歳体操、趣味活動(マージャン、チャレンジ脳トレ体操、オセロ、トランプ)、出前講座、手品講習、茶話会
10	西	石神水曜くらぶ			○		健康体操(屋外レクリエーション)、法話、ビデオ鑑賞(DVD)、趣味活動(手芸、折り紙、ゲーム等)、出前講座、講和、茶話会
11	中央	黒髪4町内地域お助け隊	○				樹木の剪定、雑草刈り、ゴミ出し分別、ダンスやベッド等の移動(比較的軽易作業)

3. 住民主体の通いの場の普及・拡大

住民主体の通いの場である「くまもと元気くらぶ」や地域の健康サロン等の新規設立の支援や継続運営に関する助言等の必要な支援を行うほか、外出機会の乏しい方を地域の通いの場につなげる等により、介護予防活動の普及・拡大を推進する。

◆くまもと元気くらぶ支援メニュー

①活動支援補助

補助率 1/2、物品購入費（上限 58,000 円）、活動費（上限 74,000 円）を補助。

②リハビリ専門職派遣

年度内に 6 回まで、リハビリテーション専門職が出向き、運動方法の指導や効果測定を実施。

③立ち上げ支援スタッフ派遣

設立当初の 1 2 回の運営を支援。



◆くまもと元気くらぶの実施状況（令和元年 8 月 1 日現在）

年度		中央区	東区	西区	南区	北区	計
H29 2017	団体数	3	4	7	2	2	18
	参加人数 団体登録時点	52	102	158	50	63	425
H30 2018	団体数	7	11	16	8	5	47
	参加人数 団体登録時点	168	254	346	230	160	1,158
R元 2019	団体数	9	10	17	12	8	56
	参加人数 団体登録時点	174	243	359	351	254	1,381

4. くまもとメディカルネットワーク等を活用した医療介護連携の推進

日常業務におけるくまもとメディカルネットワークの活用や利用拡大に向けた普及啓発に取り組むほか、地域の多職種連携を深め、高齢者が住み慣れた地域で質の高い医療や介護を受けることができる体制づくりを推進する。

◆くまもとメディカルネットワークについて

利用施設（病院・診療所・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーション・介護施設等）をネットワークで結び、参加者（患者）の診療・調剤・介護に必要な情報を共有し、医療・介護サービスに活かすシステム。熊本県が地域医療介護総合確保基金を活用し熊本県医師会に委託し、平成28年11月末より県下全域が運用開始。

本年度、全センター加入済み。

